

令和6年1月 9日

東陽中学校保護者 様

栃木市立東陽中学校長 竹田 昌彦

「東陽中学校に関するアンケート」結果について

1 1月下旬に実施しました「東陽中学校に関するアンケート」の集計がまとまりましたので御報告いたします【別紙】。

つきましては、この結果をしっかりと受け止め、今後の本校の教育活動の改善に努めてまいりたいと思います。

記

別紙のような集計結果になりました。比較的評価が高い項目については、成果と捉え、更なる推進を図りたいと考えます。また、比較的評価が低い項目を本校の課題と捉え、次のような改善策を考えました。

《成 果》

7 教職員は一人一人の能力を認め、適切に評価している。	保護者 2.9
-----------------------------	---------

○保護者の評価は 2.9 とそれほど高くありませんが、生徒の評価は 3.4 と非常に高いものでした。学校としては、各教科共に指導を工夫しながら、その指導と一体となる評価を行い、生徒一人一人の学習状況を的確に把握しています。評価について御質問等ありましたら、学校にお問い合わせください。

10 学校は、生徒会活動などの自主的・実践的な活動を積極的に行っている。	保護者 3.1
--------------------------------------	---------

○こちらも生徒の評価は 3.5 と非常に高いものとなっています。ポストコロナとなり、学校行事や各専門委員会の活動等が、以前の形に戻りつつある事が理由として上げられます。今後も生徒主体の活動を通し、生徒が成長できるよう教育課程の編成等をしていきたいと思ひます。

12 学校は、教育相談やいじめに関するアンケートを実施するなどしていじめ防止に取り組んでいる。	保護者 3.0
---	---------

○全ての生徒にとって東陽中が「魅力ある学校」となるよう、「安心・安全な環境づくり」や「居場所づくり」「絆づくり」に力を注いでいます。生徒からは 3.4 と高評価を得ており、上記が成果となって現れていると考えています。今後も引き続き生徒が安心して登校できる学校を継続していきたいと思ひます。

21 生徒は、学校に仲の良い友達がいて良好な人間関係を築いている。	保護者 3.3
-----------------------------------	---------

○生徒の評価は 3.6 と、26項目の中で最も高い数値の一つとなっています。生徒にとって最も重要な項目の一つが高評価であるのはうれしい限りです。様々な活動を通しての、生徒のコミュニケーション能力の向上や、上記「項目 12」の内容等が要因として考えられます。今後も「魅力ある学校」を継続していきたいと思ひます。

《課 題》

2 学校の施設は充実しており、学習しやすく潤いのある環境である。 保護者 2.7

○昨年度末に、多目的武道場である「陽心館」が完成しました。また、校舎内外の照明施設が全て LED に変更されました。授業を始め、部活動等でも有効活用しており、生徒の充実した教育活動につながっています。

○その他校舎が老朽化し、修繕が必要な箇所がありますが、現在も随時校内修繕を行っています。今後も市に要望し、環境を整えていきたいと思ひます。

6 教職員は分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。 保護者 2.8

○学校全体の学力は、全国や県内の一斉テストの結果等から、平均よりも高い水準の教科もありますが、少し下回っている教科もあります。指導の工夫・改善を行う等、授業の質を向上させていくとともに、個への対応についてもさらに充実させていきたいと思ひます。

14 学校は小学校とのつながりを意識した教育を進めている。 保護者 2.8

○東陽ブロック（東陽中学校区の小中一貫教育推進ブロック）では、小中9年間の学びと育ちの連続性を重視し、定期的に研修・実践を行っています。また、今年度は、入学説明会（来年度の新1年生への説明会）において、4年ぶりに体験授業を開催することができました。小中接続の問題として取り上げられることが多い「中一ギャップ」解消の一助となればと思ひます。今後、授業だけではなく、行事等でも連携できるよう再考していきたいと思ひます。

15 お子様は、他の人の意見を踏まえて自分の考えをしっかりと話すことができる。

保護者 2.8

○ポストコロナとなり、授業の形態もコロナ禍前に戻りつつあります。各授業では、話し合い活動を多く取り入れ、「聞く・話す・伝え合う」ことを積極的に行っています。

今後もより充実した話し合い活動を展開していくために、授業改善や一人一人の発言を肯定的に受け止める学級の雰囲気作りに努めていきたいと思ひます。

17 お子様は、進路や自分の将来について考えている。 保護者 2.8

○本校では継続的に、1年次の「職業人から学ぶ活動」、2年次の「職場体験学習」、3年次の「進路希望調査」「一日体験学習」等と段階的にキャリア教育を行っています。発達過程に合わせたキャリア教育を行うことで、自分と働くこととの関連付けや、人生について適切に考えることができます。今後も指導の工夫・改善を行い、より効果的なキャリア教育ができるよう努めていきます。

24 お子様はインターネット（SNSを含む）の使用について家庭で約束を守って正しく使用している。 保護者 2.7

○生徒の自己評価は昨年度同様 3.5 と高い評価なので、「自分は安全に約束を守って使用している」と自覚している生徒が多いということだと思ひます。しかし、実際に起こっている生徒間トラブルでは、SNS 上のものが大変多くなっており、一部の生徒は正しい使い方ができていないという事実があります。今後も「メディアリテラシー」に関する指導や道徳教育を充実させ、生徒の意識を高められるよう努力していきたいと思ひます。引き続き御家庭での御指導もよろしくお願ひします。